会 議 要 旨	
会 議 名	令和6年度第1回中小企業等活性化会議
開 催 日 時	令和6年10月7日（月） 13時30分～15時00分
場 所	合志市役所2階大会議室
出 席 委 員	池永けい子委員・馬場徹委員（副会長）・大塚歩委員・小山善文委員・米田珠実委員・穴井憲義委員・渡辺資文委員・松原寿幸委員・平井祐佳里委員・永目佐智子委員・永清和寛委員・塚本健洋委員・木永和博委員
欠 席 委 員	池永幸生委員（会長）・山部裕輝委員・鈴木憲治委員
出 席 者	合志市商工会 奈田課長 財政課 白濱課長補佐・徳永主事 《事務局》 榮課長・綾部課長補佐・小西主幹・樋口主査
議 題	1. 中小企業振興施策の実績について 2. 優良中小企業表彰推薦について 3. 事業承継連携協定について 4. ふるさと納税返礼品について 5. 意見交換
そ の 他	

【事務局】

定刻になりましたので、開会に先立ち、挨拶から始めたいと思います。

皆様ご起立ください。「こんにちは」。ご着席ください。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。開会を商工振興課長の榮が申し上げます。

【事務局】

皆様、こんにちは。商工振興課長の榮と申します。よろしく申し上げます。委員の皆様には、お忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。

ただいまより、令和6年度第1回合志市中小企業等活性化会議を開催いたします。

【事務局】

次に委嘱状交付を行います。本来であれば、市長からお一人お一人に委嘱状を交付すべきところですが、本日は代表者の方お一人に交付するということでご了承賜りたいと存じます。机上に配付させていただいております委員名簿をご確認ください。それでは、委員の皆様の代表といたしまして、名簿2番「池永けい子」様に委嘱状を交付いたします。池永けい子様、前へお進みください。

～市長より委嘱状交付～

ありがとうございました。委員の皆様につきましては、委嘱状をお手元にお配りしておりますので、ご確認のうえ、お納めください。後ほど各委員の自己紹介のお時間を頂戴したいと思います。

【事務局】

続きまして、市長挨拶。荒木市長お願いいたします。

【荒木市長】

委員の皆様、本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。企業の皆様は、長引く資材高騰や円安等さまざまな要因で非常に厳しい状況にあるかと思えます。我々行政も、公共工事等において資材高騰の影響を受けています。また、本市は人口、特に18歳以下のこどもの割合が増えており、扶助費の支出が増加しています。しかし、市民に対してすぐに税金や上下水道料金を値上げするわけにはいかない。ではどうするかというと、地域経済の活性化、創業支援、事業承継、企業の皆様のお困りごとを国や県と連動して解決していかなければならない。そのために、本市は経済産業省や九州経済産業局とも人材交流をしています。

TSMCの影響で地元の関連自治体は注目されており、マスコミは光と影の部分を取り上げます。一部の方々に光が当たるのではなく、市全体に恩恵があるようにしなければなりません。この会議で、地域の方が欲しいと思うものを把握し、どこに市が力を入れて支援するのかという根拠にしたいと思えます。事務局も一生懸命取り組みますので、ぜひ活発な議論をしていただき、施策に反映させていきたいと思えます。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、会長及び副会長の選出となっておりますが、合志市中小企業等活性化会議設置要綱第5条の規定により、互選となっております。委員の皆様から選出についてのご提案があればと思えますが。

なければ事務局案をご掲示させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なしとの声)

それでは、会長に、本日はご欠席ですが、合志市商工会会長の池永幸生委員、副会長に市企業連からの推薦で東京エレクトロン九州株式会社 馬場徹委員をご推薦したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしとの声)

それでは、馬場副会長よろしくお願いいたします。引き続き副会長挨拶に移ります。馬場副会長お願いいたします。

～副会長挨拶～

【事務局】

ありがとうございました。ここで荒木市長は公務のため退席させていただきます。

引き続き、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。

～各委員自己紹介～

【事務局】

それでは議題に入りたいと思います。

設置要綱第6条第2項により、「活性化会議の議長は会長が当たる。」と規定しておりますが、本日会長はご欠席ですので、同要綱第5条第4項により、「副会長は、会長を補佐し、その職務を代理する。」と規定しておりますので、馬場副会長、議長をお願いいたします。

【副会長】

議題に沿って、事務局から説明やご提案があるかと思えます。委員皆様のきたんのないご意見をよろしくをお願いいたします。議題1「中小企業振興施策の実績」について、事務局の説明を求めます。

【事務局】

～別紙資料1「中小企業等振興施策実績」について説明～

【副会長】

事務局からの説明が終わりました。委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。では次に議題2へ移ります。議題2「優良中小企業表彰推薦」について、事務局よりお願いします。

【事務局】

～別紙資料2「優良中小企業表彰推薦」について説明～

【副会長】

優良中小企業表彰についての説明でした。それでは市商工会、市企業等連絡協議会より推薦のありました2社について、優良中小企業表彰要綱に基づき審査いたします。推薦企業2社についてですが、推薦書を確認したところ、優良中小企業として相応しい企業と判断できますので認定することは問題ないと考えますが、委員の皆様からご意見等ありますでしょうか。

(異議なしとの声)

それでは、推薦企業2社を令和6年度の優良中小企業として認定します。

続いて、議題3「事業承継連携協定」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

～別紙資料3「事業承継連携協定」について説明～

【委員】

事業承継問題は、高齢化が主な要因というのは理解できますが、行政として、それだけが問題だと考えているか？

【事務局】

高齢となった事業者だけではなく、事業をスタートさせたばかりの事業者に対しても、早い段階で後継者をどうするか考えるきっかけを作るために、全事業者を対象にしたいと考えている。

【委員】

そうではなくて、事業承継が問題となる要因は高齢化以外にも他にもあると私は考えているが。

【委員】

ケースバイケースだが、たとえば、事業主は高齢者になり、こどもは都会に出て戻ってこない場合、会社の中に経営が良い部門と悪い部分があったとしてもすべてを廃業し社員がバラバラになるというのが一番悲しいケース。良い部門だけでも事業承継できたかもしれないので、なるべく早い段階で相談できる場所があるというのが一番大事ではないか。

【委員】

高齢化が事業承継問題の主な要因であるのは確かだが、それ以外にも、この地域は特に、労務単価が非常に上がっていて人手不足となっていることも大きな要因となっていると私は認識しているため、行政には雇用問題にも対策をしてほしい。実際、飲食店をやっている友人が、お客さんは多いが、アルバイトを雇うことができずに廃業すると言っていた。集客力の差は経営者の能力とやる気によるところが大きいですが、行政には具体的な集客指導もしてほしい。

【事務局】

行政としても、経営状況・経営課題を把握し、事業承継に向けて「見える化」をして経営改善に向けて磨き上げをしていきたい。事業承継といって親族内承継・第三者承継・M&A等ある。内容も、経営・資産・知的財産の承継等幅広くあるため、関係者の皆様と今後勉強していきたい。

【委員】

今話に出たM&Aについてだが、M&Aと聞くと大きいことのように感じるが、先程の私の友人のように、小さい飲食店を引継ぐ場合にもM&Aという選択肢があることを知ってほしい。

ただし、我々は最近M&Aに力を入れているが、仲介者が信頼できないケースがあって問題になっている。1,000万円規模のM&Aで、仲介手数料を1,000万円とる業者もある。

【委員】

国がやっている「事業承継引継ぎ支援センター」をセカンドオピニオンとしてぜひ活用していただきたい。結果が全然違うというのはよくあるケース。

【委員】

本市でも事業承継を成功させたケースがあるので、商工会から事例紹介を。

【市商工会】

合志市商工会では、県商工会連合会の特任支援課や国の事業承継引継ぎ支援センターと連携をして事業承継の対応をしているが「商工会で事業承継の相談ができるの？」と言われることもある。先日、事業承継の成功事例もあったので、広く周知し、今後は市や金融機関、JAと連携協定を締結させ、事業承継も選択肢の一つであると提案し、ワンストップで対応していきたい。

【委員】

事業承継というと、どうしても買収というイメージになりがちなので、資本投下という視点もぜひ持っていただきたい。

【委員】

今回、連携協定先にJAが入っているのはとても良いと思う。というのも、先日、議会運営委員会で新規就農者の方からの意見を聞いた際、商工業に比べて農業は情報があまり入ってこないという意見があった。せっかく就農したのに農業だけでは食べていけない、では困る。

【事務局】

六次化を含め、農業とも連携を図っていきたいと考えている。

【馬場副会長】

皆様ご意見ありがとうございました。それでは議題4「ふるさと納税返礼品」について、まずは、ふるさと納税の担当課である財政課より制度などの概要説明をお願いします。

【財政課】

～ふるさと納税制度の説明～

【委員】

以前、この会議でもふるさと納税について議論したが、その際、市側の説明では、市民が他市町村にふるさと納税する金額が多くマイナスになるため合志市は積極的にはやらないというスタンスだったと認識しているが？

【財政課】

今、合志市はふるさと納税に積極的に取り組むというスタンス。合志市は約2億円の寄付額に対し、返礼品の代金(寄付額に対し3割以内)と委託費を合計すると約1億円の経費がかかっている。また、市民が他市町村へふるさと納税した場合は税収が減るため、その分は国から地方交付税が補填される。トータルでいうとプラスの状況。また、ふるさと納税に取り組まないと、他市町村との差が広がってしまうので、力を入れていきたい。

【委員】

わかりました。そうすると、返礼品をいかに充実させるかと、委託費をいかに抑えるかが課題。水漏れバケツの理論のように、いかにその中で経済を循環させるかが大事。

【委員】

モノじゃなくてコト、お墓掃除や見守りサービスのように、こどもや孫が地元から離れている家庭はたくさんあると思うので、親孝行もできるし税控除もできるというメリットを前面に押し出してプロモーションをしていくと良いと思う。

【財政課】

固定資産税の納税通知にふるさと納税のパンフレットも同封しPRをしている。空き家対策にもつながる。

【委員】

佐賀県上峰町は人口約1万人の町だが、2022年のふるさと納税寄付額が100億円で、公共サービスを充実させている。主力の返礼品はウナギだが、もう一つ、地元で人気のお店のエビフライが主力商品になっている。ブラックタイガーを海外から仕入れても、6割加工すれば返礼品として登録できるので、地元で獲れるものに目が行きがちだが、加工品にも目を向ければバリエーションが広がるのではないかと。合志市には地元で人気の芋天屋さん等もあるようなので。もし視察等の要望があればお繋ぎすることもできる。

【委員】

事業者への営業は市がやっているのか？委託業者か？

【財政課】

委託業者が営業に回っている。

【委員】

きつい言い方をしようだが、回れていないと思う。いきなり委託業者が来ても不審に思われるかもしれないため、商工会を通じて会員事業者に営業する等の工夫が必要。

先日、中学生とも意見交換会をしたが、中学生ですら合志市は特産品がないと言っていた。

今、トルコキキョウ(花)等も人気のようなので、農業とも連携してブランド化してはどうか。

【委員】

銀座にアンテナショップがあるため、その商品券はどうか。

【委員】

2年程前、ある自治体と福岡大学の学生と一緒に、ふるさと納税活性化について研究をした。そ

の際、将来地元に関心を持って盛り上げていくであろう子どもたちに働きかけを行うことが、長期的な目線でみれば効果的ではないかという意見にたどりついた。地元を離れて就職した子ども達が故郷にふるさと納税をするのではないかと考えたが、結果的には、その子ども達は地元の魅力を感じて地元に残って就職したということがあった。行政としては長い視点で見るとは難しいようでその自治体には意見を取り入れてもらえなかったが、そういう視点で見つめると、もっと良いものができるのではないかと思う。

【委員】

菊池税務署が小中学生向けに租税教室の出前講座をしているので、そこにふるさと納税を盛り込んでもらってはどうか。エリートコースをいく子どもは、都心の大学に進学しそのまま就職してしまうが、高校生までの補助を出しているのは合志市。子ども医療費も高校生まで無償化して合志市は子育てに力を入れているわけなので、大人になってから地元に貢献してもらえるように。

【副会長】

たくさんのご意見をいただきました。次に、事務局よりふるさと納税返礼品の商品開発等に向けた支援策について説明をお願いします。

【事務局】

～ふるさと納税返礼品の商品開発等に向けた支援策について説明～

【副会長】

事務局または委員からご意見、ご要望などがありましたらお願いします。議案に関わらず、なんでも結構です。

(意見・要望なし)

本日は、慎重なるご協議をいただきまして誠にありがとうございました。事務局においては、本日の委員の意見を尊重し中小企業振興施策に反映していただきますようお願いいたします。

【事務局】

馬場副会長、議事進行ありがとうございました。それでは、閉会に移ります。

【事務局】

長時間の審議、どうもお疲れさまでございました。委員の皆様方からいただいた貴重なご意見を参考にさせていただき、今後の合志市の活性化につなげていきたいと思っております。

それでは令和6年度第1回合志市中小企業等活性化会議を閉会いたします。